

# 岡山県の景気観測調査

(平成19年7～9月期実績)

平成19年10月25日

岡山県商工会議所連合会

1. 調査方法 FAXによるアンケート
2. 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目  
平成19年7～9月期を前年同期と比較  
平成19年10～12月期の先行き見通しを平成19年7～9月期と比較
3. 調査時期 9月下旬
4. 調査対象 県下商工会議所会員企業628社
5. 有効回答数 607社 (回収率96.6%)  

製造業	213社	食料品35社	繊維関連39社	紙・印刷・出版23社
		機械金属32社	電気・精密機械16社	鉱業・窯業・土石15社
		輸送用機械器具16社	その他37社	
建設業	88社			
卸売業	89社			
小売業	116社			
サービス業	101社			
6. 調査開始時期 平成10年12月
7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式  
DIは各調査項目について判断の状況を示す。  
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、  
マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。  
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$
8. 問い合わせ先 岡山商工会議所 企画広報部  
TEL(086)232-2262

## 平成19年7～9月期「景況概要」

景況全体では、4～6月期に比べ、ほぼ「横ばい」の結果となった。生産額・売上額がマイナス幅を減少させたが、引き続き、原材料・商品仕入価格はマイナス幅を拡大しており、製品・販売価格がマイナス幅を縮小させてはいるものの、採算(収益)はマイナス幅を拡大している。業種別では、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小したが、製造業、建設業でマイナス幅が拡大。

### 1. 景況

総合D I (好転 - 悪化)は 21.3と4～6月期に比べ0.1ポイントマイナス幅が拡大した。卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小。製造業、建設業においてマイナス幅が拡大した。

### 2. 生産額・売上額

総合D I (増加 - 減少)は 14.1と4～6月期に比べ1.7ポイントマイナス幅が縮小した。卸売業、小売業においてマイナス幅が縮小したが、サービス業においてマイナス幅が拡大。製造業はマイナスで横ばいとなった。

### 3. 受注額

総合D I (増加 - 減少)は 12.3と4～6月期に比べ0.7ポイントマイナス幅が縮小した。製造業がマイナス幅を縮小したが、建設業はマイナス幅が拡大した。

### 4. 原材料・商品仕入価格

総合D I (下降 - 上昇)は 38.2と4～6月期に比べ4.0ポイントマイナス幅が拡大した。製造業、卸売業、小売業、サービス業においてマイナス幅が拡大。建設業はマイナス幅を縮小した。

### 5. 製品・商品販売価格

総合D I (上昇 - 下降)は 3.1と4～6月期に比べ1.0ポイントマイナス幅が縮小した。製造業がマイナスからプラスに転じたが、卸売業がプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナス幅を縮小し、サービス業はマイナス幅が拡大した。

### 6. 製品在庫・商品在庫

総合D I (減少 - 増加)は 4.0と4～6月期に比べ1.8ポイントプラス幅が縮小した。小売業、サービス業がプラス幅を拡大したが、卸売業がプラス幅を縮小し、製造業がプラスからマイナスに転じた。

### 7. 資金繰り

総合D I (好転 - 悪化)は 19.3と4～6月期に比べ3.6ポイントマイナス幅が拡大した。製造業がマイナス幅を縮小。それ以外の業種ではマイナス幅を拡大させた。

### 8. 採算(収益)

総合D I (好転 - 悪化)は 34.1と4～6月期に比べ3.5ポイントマイナス幅が拡大した。卸売業、小売業がマイナス幅を縮小したが、製造業、建設業、サービス業ではマイナス幅を拡大した。

### 9. 従業員(常用)

総合D I (不足 - 過剰)は 2.3と4～6月期に比べ1.2ポイントプラス幅が縮小した。小売業、サービス業がプラス幅を拡大。製造業はプラス幅を縮小し、建設業がプラスからマイナスに転じた。卸売業はマイナス幅を拡大した。

### 10. 従業員(臨時)

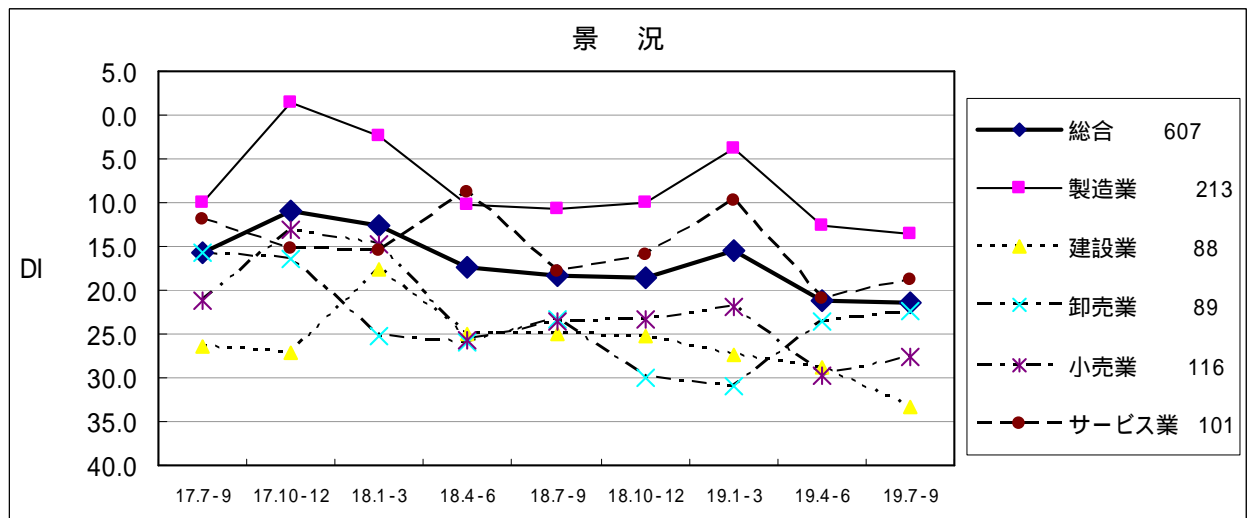
総合D I (不足 - 過剰)は 8.1と4～6月期に比べ1.1ポイントプラス幅が縮小した。小売業とサービス業がプラス幅を拡大したが、製造業、卸売業でプラス幅を縮小。建設業はマイナス幅を拡大させた。

# 1. 景況

## (1) 全体

総合DI（好転 - 悪化）は 21.3と4～6月期に比べ0.1ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小。製造業、建設業においてマイナス幅が拡大した。

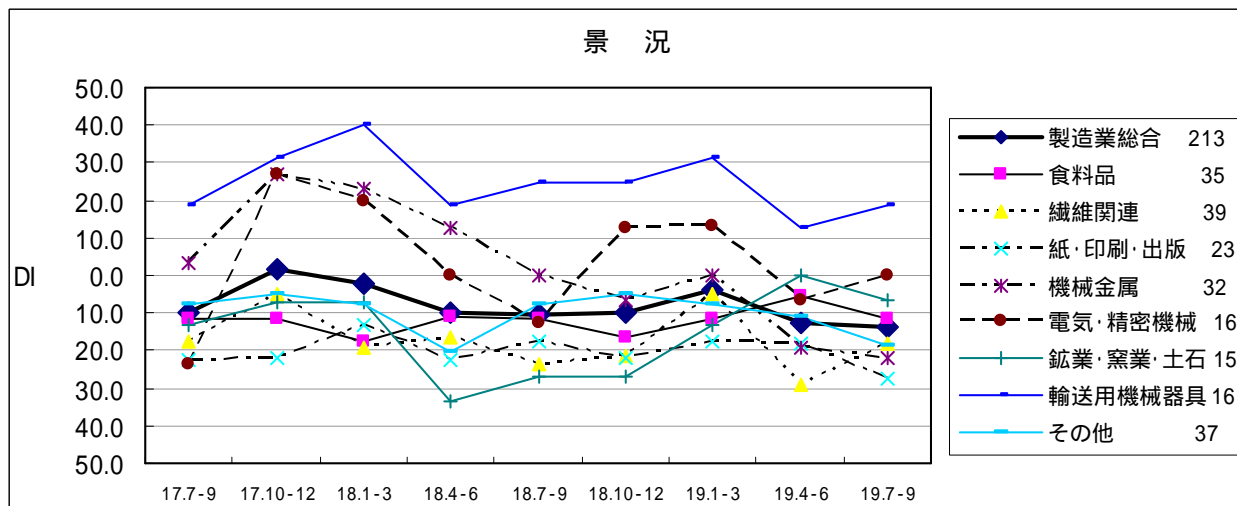
平成19年10～12月期の先行き見通し総合DIは 17.0（前回調査時の先行き見通し総合DI 14.6）となり、マイナス幅が拡大する見通し。



景況	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合 607	15.8	11.0	12.6	17.3	18.3	18.7	15.6	21.2	21.3
製造業 213	9.9	1.4	2.4	10.1	10.6	10.1	3.8	12.7	13.7
建設業 88	26.3	27.2	17.6	25.0	25.0	25.3	27.5	28.7	33.3
卸売業 89	15.7	16.5	25.3	25.8	23.3	30.0	31.0	23.6	22.5
小売業 116	21.2	13.0	14.7	25.7	23.7	23.3	21.9	29.7	27.6
サービス業 101	11.9	15.2	15.5	8.8	17.8	15.8	9.8	21.0	18.8

## (2) 製造業の内訳

繊維関連がマイナス幅を縮小し、電機・精密機械はマイナスからプラスマイナスゼロとなる。輸送用機械器具がプラス幅を拡大。鉱業・窯業・土石はプラスマイナスゼロからマイナスとなり、食料品、紙・印刷・出版、機械金属、その他でマイナス幅を拡大した。



景況	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
製造業総合 213	9.9	1.4	2.4	10.1	10.6	10.1	3.8	12.7	13.7
食料品 35	11.8	11.4	17.6	11.1	11.4	16.7	11.8	5.6	11.4
繊維関連 39	17.5	4.9	19.0	16.7	23.8	21.4	5.0	29.3	17.9
紙・印刷・出版 23	22.7	21.7	13.0	22.7	17.4	21.7	17.4	18.2	27.3
機械金属 32	3.4	26.7	23.3	12.9	0.0	6.5	0.0	19.4	21.9
電機・精密機械 16	23.5	26.7	20.0	0.0	12.5	12.5	13.3	6.7	0.0
鉱業・窯業・土石 15	13.3	7.1	7.1	33.3	26.7	26.7	13.3	0.0	6.7
輸送用機械器具 16	18.8	31.3	40.0	18.8	25.0	25.0	31.3	12.5	18.8
その他 37	7.7	5.0	7.9	20.5	7.9	5.1	7.7	10.8	18.9

## <参考> 地区別

旧岡山、玉島、津山、笠岡、備前、高梁、総社においてマイナス幅が縮小したが、倉敷、児島、玉野、井原、新見においてマイナス幅が拡大。

(注) 平成 19 年 4 月 1 日付けで岡山商工会議所と西大寺商工会議所が合併したことにもない、旧岡山分および旧西大寺分のデータを統合し、新岡山分として掲載。当面 1 年間分はデータ比較のため、旧岡山分と旧西大寺分を併記しています。

(注) 平成 19 年 7-9 月期より岡山商工会議所西大寺支所管内のモニター企業を一部変更した。

景況(地区別)	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
岡山(147)								9.6	8.2
旧岡山(117)	6.3	0.8	2.4	3.4	9.9	13.8	2.6	12.1	10.3
旧西大寺(30)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
倉敷(82)	7.4	4.9	8.5	8.6	8.6	6.1	3.8	11.3	22.0
玉島(35)	16.3	7.9	13.2	13.2	10.5	13.2	17.1	23.5	11.4
児島(60)	18.3	8.3	15.0	25.0	21.7	23.3	15.0	25.0	28.3
津山(56)	36.5	25.0	25.9	41.1	26.4	34.5	31.5	41.8	32.7
玉野(39)	20.0	22.5	10.0	15.0	15.0	2.5	7.7	10.3	15.4
笠岡(40)	10.8	17.5	5.1	20.5	35.9	25.0	27.5	22.5	20.0
井原(30)	20.0	26.7	16.7	33.3	20.0	36.7	30.0	26.7	30.0
備前(30)	13.3	20.0	23.3	20.0	16.7	20.0	23.3	44.8	30.0
高梁(30)	23.3	30.0	27.6	20.0	40.0	30.0	23.3	43.3	40.0
総社(29)	12.0	0.0	15.4	24.1	33.3	33.3	27.6	11.5	10.3
新見(29)	45.2	34.5	31.0	28.1	29.0	28.6	36.7	25.8	44.8

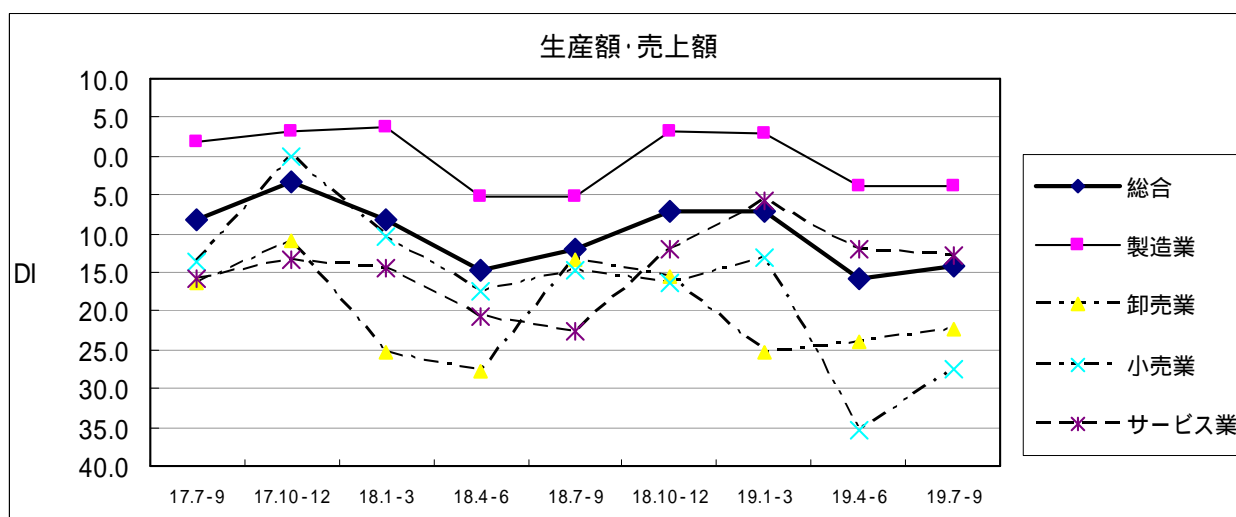
## 2. 生産額・売上額

### (1) 全体

総合DI(増加・減少)は 14.1と4～6月期に比べ1.7ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、卸売業、小売業においてマイナス幅が縮小したが、サービス業においてマイナス幅が拡大。製造業はマイナスで横ばいとなった。

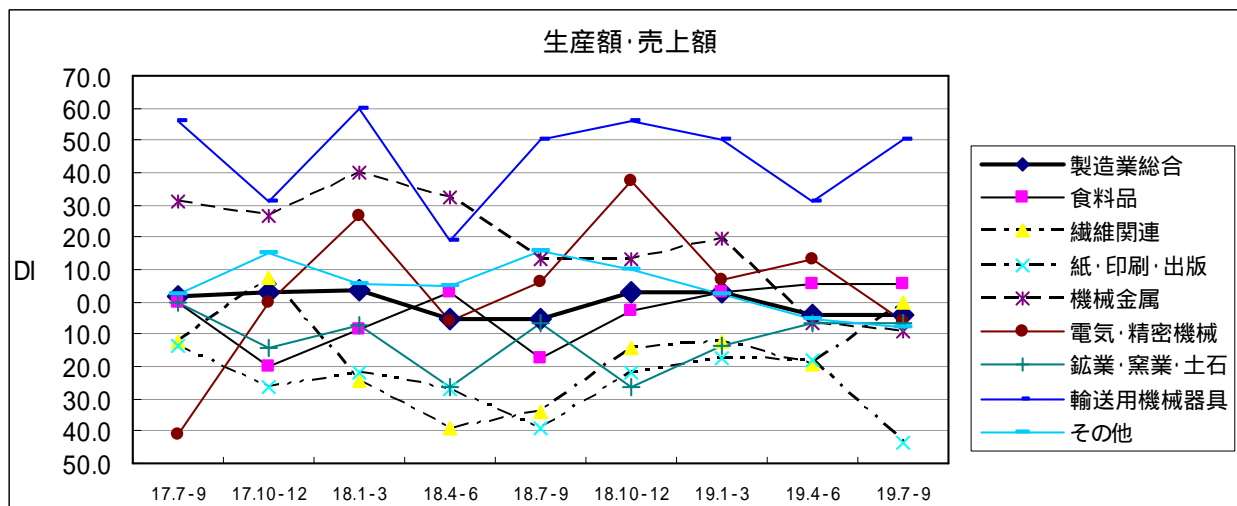
平成19年10～12月期の先行き見通し総合DIは 2.5(前回 3.7)となり、マイナス幅が縮小する見通し。



生産額・売上額	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	8.2	3.2	8.1	14.8	12.1	7.2	7.1	15.8	14.1
製造業	1.9	3.3	3.8	5.1	5.1	3.2	2.8	3.8	3.8
卸売業	16.5	10.9	25.3	27.8	13.3	15.6	25.3	23.9	22.5
小売業	13.6	0.0	10.3	17.5	14.8	16.4	13.0	35.4	27.6
サービス業	15.8	13.5	14.6	20.6	22.5	11.9	5.9	11.9	12.9

## (2) 製造業の内訳

輸送用機械器具と食料品がわずかにプラス幅を拡大し、繊維関連はマイナスからプラスマイナスゼロとなるが、電気・精密機械はプラスからマイナスへ転じた。鉱業・窯業・土石はマイナスで横ばい、紙・印刷・出版、機械金属、その他はマイナス幅を拡大した。



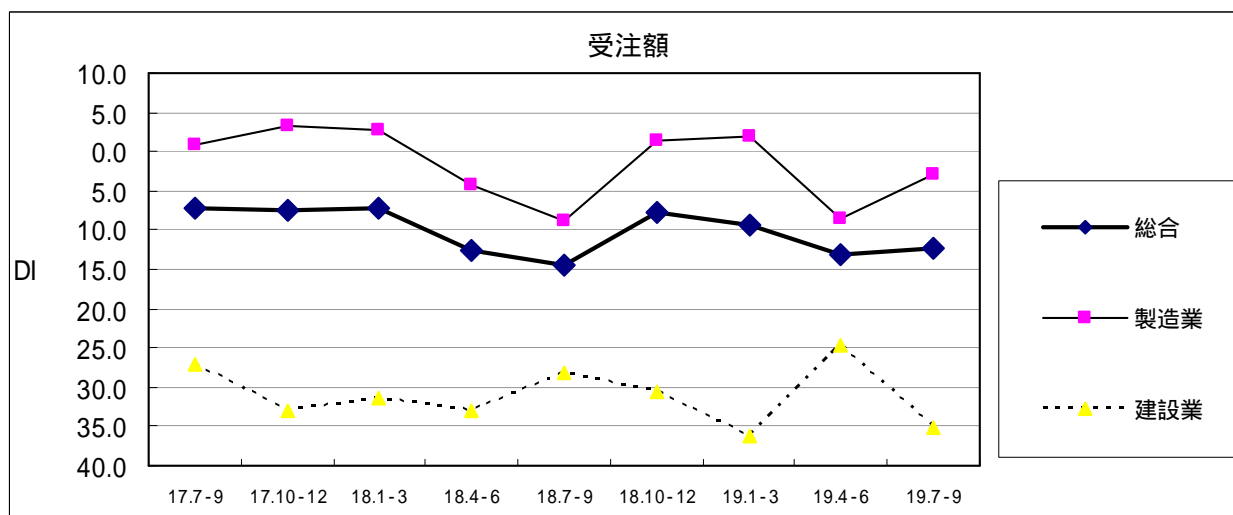
生産額・売上額	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
製造業総合	1.9	3.3	3.8	5.1	5.1	3.2	2.8	3.8	3.8
食料品	0.0	20.0	8.8	2.9	17.1	2.8	2.9	5.6	5.7
繊維関連	12.5	7.1	24.4	39.0	34.1	14.3	12.5	19.5	0.0
紙・印刷・出版	13.6	26.1	21.7	27.3	39.1	21.7	17.4	18.2	43.5
機械金属	31.0	26.7	40.0	32.3	12.9	12.9	19.4	6.5	9.4
電気・精密機械	41.2	0.0	26.7	6.3	6.3	37.5	6.7	13.3	6.3
鉱業・窯業・土石	0.0	14.3	7.1	26.7	6.7	26.7	13.3	6.7	6.7
輸送用機械器具	56.3	31.3	60.0	18.8	50.0	56.3	50.0	31.3	50.0
その他	2.6	15.0	5.3	5.1	15.8	10.3	2.6	5.4	8.1

### 3. 受注額

#### (1) 全体

総合DI(増加-減少)は 12.3と4~6月期に比べ0.7ポイントマイナス幅が縮小した。  
業種別では、製造業がマイナス幅を縮小したが、建設業はマイナス幅が拡大した。

平成19年10~12月期の先行き見通し総合DIは 2.7(前回 8.8)となり、マイナス幅を縮小する見通し。

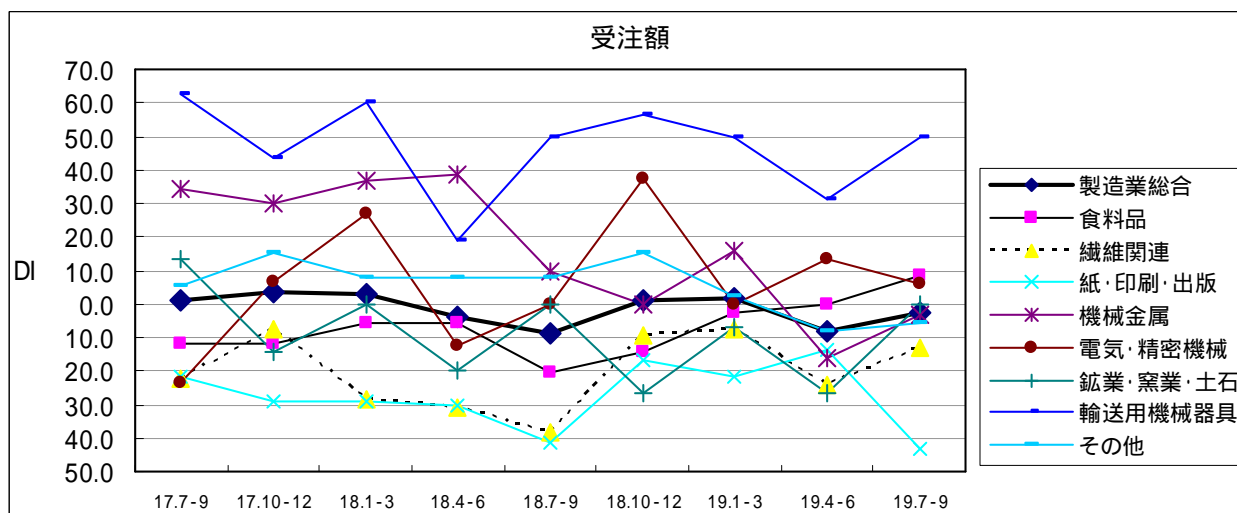


受注額	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	7.3	7.5	7.3	12.5	14.4	7.8	9.3	13.0	12.3
製造業	0.9	3.3	2.8	4.1	8.8	1.4	1.9	8.5	2.8
建設業	27.0	33.0	31.5	33.0	28.1	30.7	36.4	24.7	35.2



## (2) 製造業の内訳

食料品がプラスマイナスゼロからプラス幅を拡大、輸送用機械器具においてもプラス幅を拡大。鉱業・窯業・土石はマイナスからプラスマイナスゼロとなり、繊維関連、機械金属、その他はマイナス幅を縮小した。電気・精密機械はプラス幅を縮小、紙・印刷・出版はマイナス幅を拡大した。



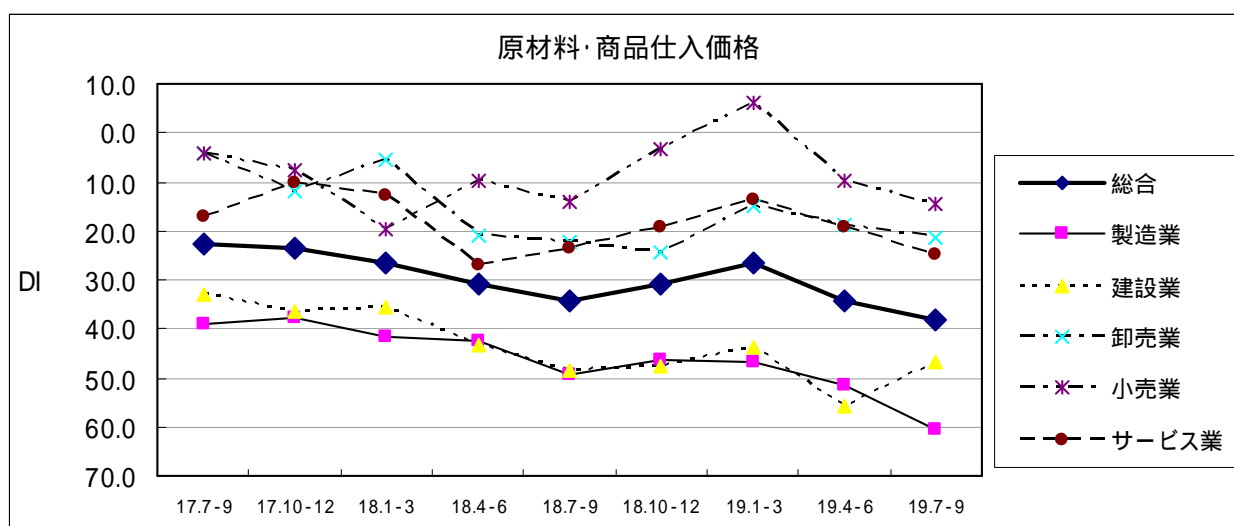
受注額	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
製造業総合	0.9	3.3	2.8	4.1	8.8	1.4	1.9	8.5	2.8
食料品	11.8	11.8	5.9	5.7	20.6	14.3	2.9	0.0	8.6
繊維関連	22.5	7.3	28.6	31.0	38.1	9.5	7.5	24.4	12.8
紙・印刷・出版	21.7	29.2	29.2	30.4	41.7	16.7	21.7	13.6	43.5
機械金属	34.5	30.0	36.7	38.7	9.7	0.0	16.1	16.1	3.2
電気・精密機械	23.5	6.7	26.7	12.5	0.0	37.5	0.0	13.3	6.3
鉱業・窯業・土石	13.3	14.3	0.0	20.0	0.0	26.7	6.7	26.7	0.0
輸送用機械器具	62.5	43.8	60.0	18.8	50.0	56.3	50.0	31.3	50.0
その他	5.1	15.0	7.9	7.7	7.9	15.4	2.6	8.1	5.4

## 4. 原材料・商品仕入価格

### (1) 全体

総合DI（下降 - 上昇）は 38.2と4～6月期に比べ4.0ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業においてマイナス幅が拡大。建設業はマイナス幅を縮小した。

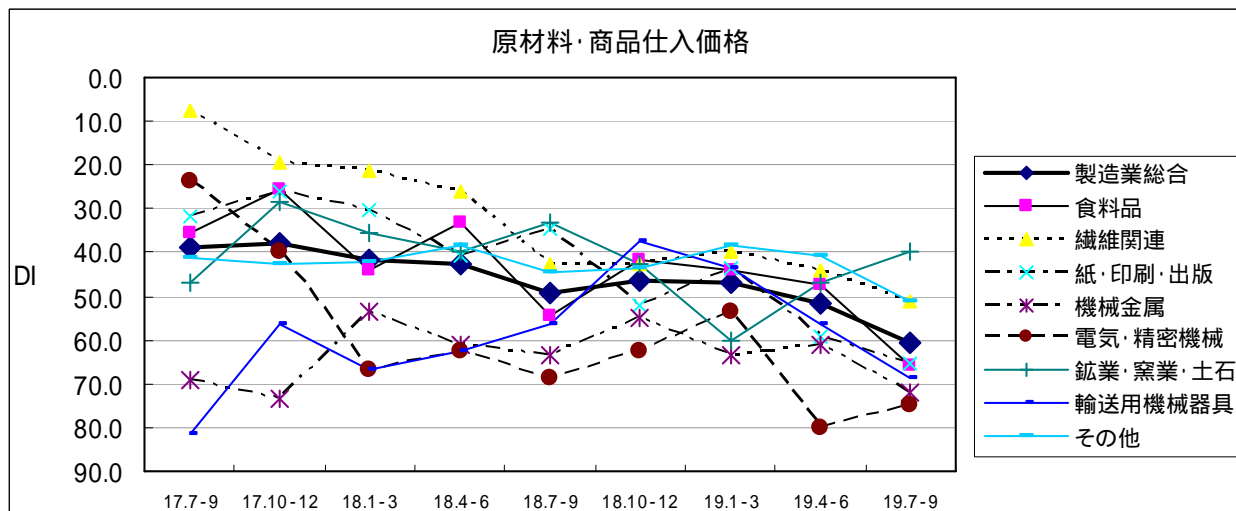
平成19年10～12月期の先行き見通し総合DIは 32.3（前回 31.9）となり、7～9月期の先行き見通し総合DIに比べマイナス幅が拡大する見通し。



原材料・商品仕入価格	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	22.7	23.6	26.6	30.9	34.4	31.0	26.4	34.2	38.2
製造業	38.9	37.9	41.7	42.4	49.3	46.5	46.7	51.6	60.6
建設業	33.0	36.3	35.5	43.5	48.4	47.8	44.0	55.7	46.6
卸売業	4.4	12.0	5.5	20.9	22.2	24.4	15.1	18.7	21.3
小売業	4.3	7.8	19.8	9.6	13.9	3.4	6.1	9.6	14.7
サービス業	17.2	10.2	12.8	27.2	23.4	19.1	13.7	19.4	24.7

## (2) 製造業の内訳

電気・精密機械、鉱業・窯業・土石はマイナス幅を縮小。しかし、食料品、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、輸送用機械器具、その他においてはマイナス幅が拡大した。



原材料・商品仕入価格	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
<b>製造業総合</b>	<b>38.9</b>	<b>37.9</b>	<b>41.7</b>	<b>42.4</b>	<b>49.3</b>	<b>46.5</b>	<b>46.7</b>	<b>51.6</b>	<b>60.6</b>
食料品	35.3	25.7	44.1	33.3	54.3	41.7	44.1	47.2	65.7
繊維関連	7.7	19.5	21.4	26.2	42.9	42.9	40.0	43.9	51.3
紙・印刷・出版	31.8	26.1	30.4	40.9	34.8	52.2	43.5	59.1	65.2
機械金属	69.0	73.3	53.3	61.3	63.3	54.8	63.3	61.3	71.9
電気・精密機械	23.5	40.0	66.7	62.5	68.8	62.5	53.3	80.0	75.0
鉱業・窯業・土石	46.7	28.6	35.7	40.0	33.3	42.9	60.0	46.7	40.0
輸送用機械器具	81.3	56.3	66.7	62.5	56.3	37.5	43.8	56.3	68.8
その他	41.0	42.5	42.1	38.5	44.7	43.6	38.5	40.5	51.4

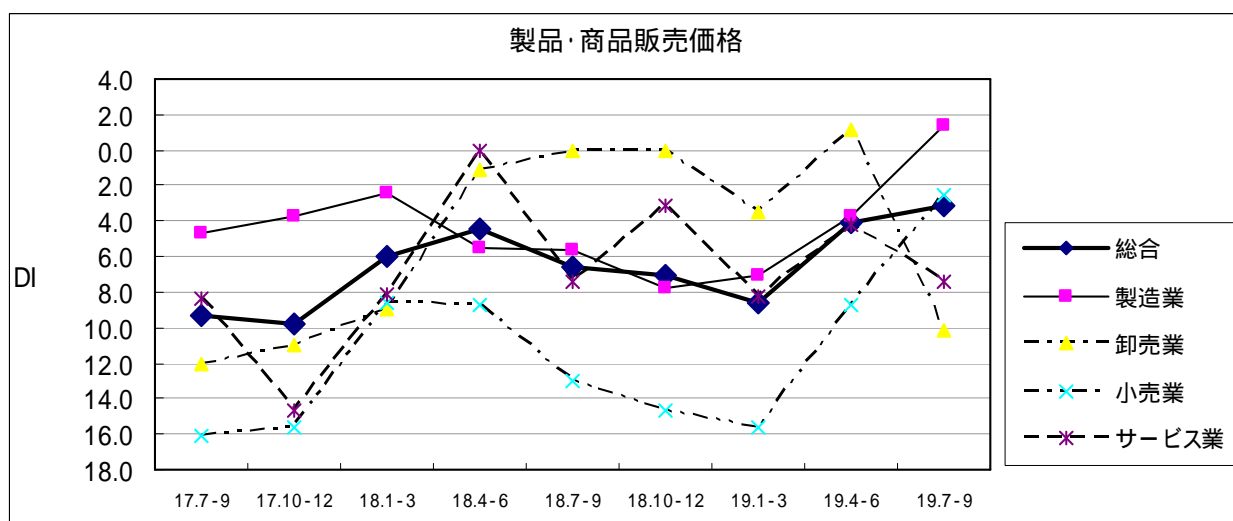
## 5. 製品・商品販売価格

### (1) 全体

総合DI（上昇・下降）は 3.1 と4～6月期に比べ1.0ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業がマイナスからプラスに転じたが、卸売業がプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナス幅を縮小し、サービス業はマイナス幅が拡大した。

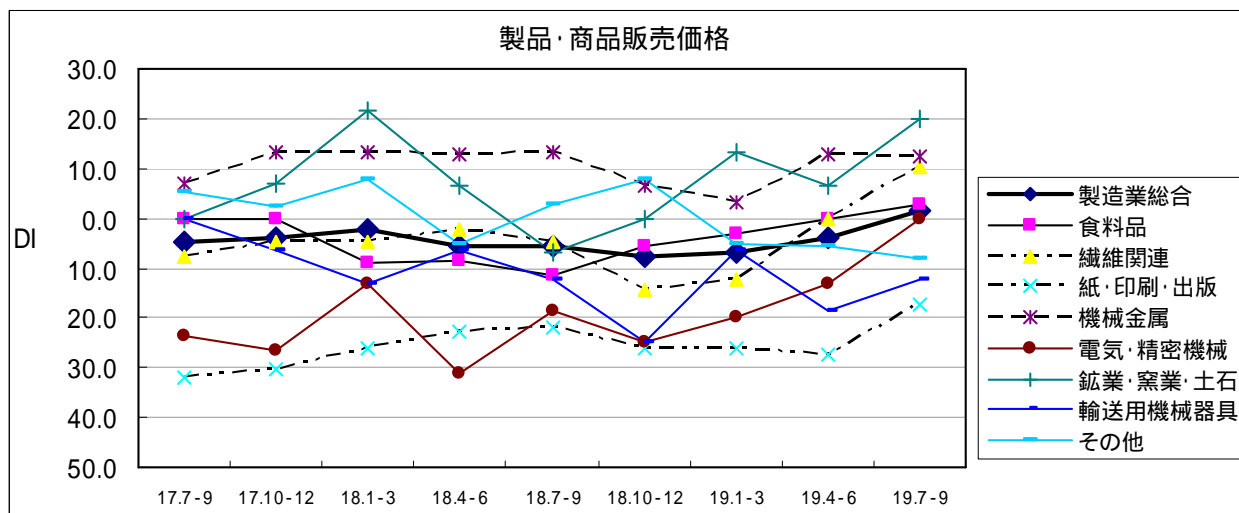
平成19年10～12月期の先行き見通し総合DIは 2.5（前回 1.6）となり、マイナス幅が拡大する見通し。



製品・商品販売価格	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	9.3	9.8	6.0	4.5	6.6	7.1	8.6	4.1	3.1
製造業	4.7	3.7	2.4	5.6	5.6	7.8	7.0	3.8	1.4
卸売業	12.1	11.0	9.0	1.1	0.0	0.0	3.4	1.1	10.1
小売業	16.1	15.7	8.6	8.8	13.0	14.7	15.7	8.8	2.6
サービス業	8.3	14.7	8.2	0.0	7.4	3.1	8.2	4.2	7.4

## (2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連がプラスマイナスゼロからプラスとなり、鉱業・窯業・土石がプラス幅を拡大した。電気・精密機械がマイナスからプラスマイナスゼロとなり、紙・印刷・出版、輸送用機械器具がマイナス幅を縮小したが、その他でマイナス幅を拡大。機械金属はプラス幅を若干縮小した。



製品・商品販売価格	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
製造業総合	4.7	3.7	2.4	5.6	5.6	7.8	7.0	3.8	1.4
食料品	0.0	0.0	8.8	8.3	11.4	5.6	2.9	0.0	2.9
繊維関連	7.5	4.9	4.9	2.4	4.8	14.3	12.5	0.0	10.3
紙・印刷・出版	31.8	30.4	26.1	22.7	21.7	26.1	26.1	27.3	17.4
機械金属	6.9	13.3	13.3	12.9	13.3	6.5	3.2	12.9	12.5
電気・精密機械	23.5	26.7	13.3	31.3	18.8	25.0	20.0	13.3	0.0
鉱業・窯業・土石	0.0	7.1	21.4	6.7	6.7	0.0	13.3	6.7	20.0
輸送用機械器具	0.0	6.3	13.3	6.3	12.5	25.0	6.3	18.8	12.5
その他	5.1	2.5	7.9	5.3	2.7	7.7	5.1	5.4	8.1

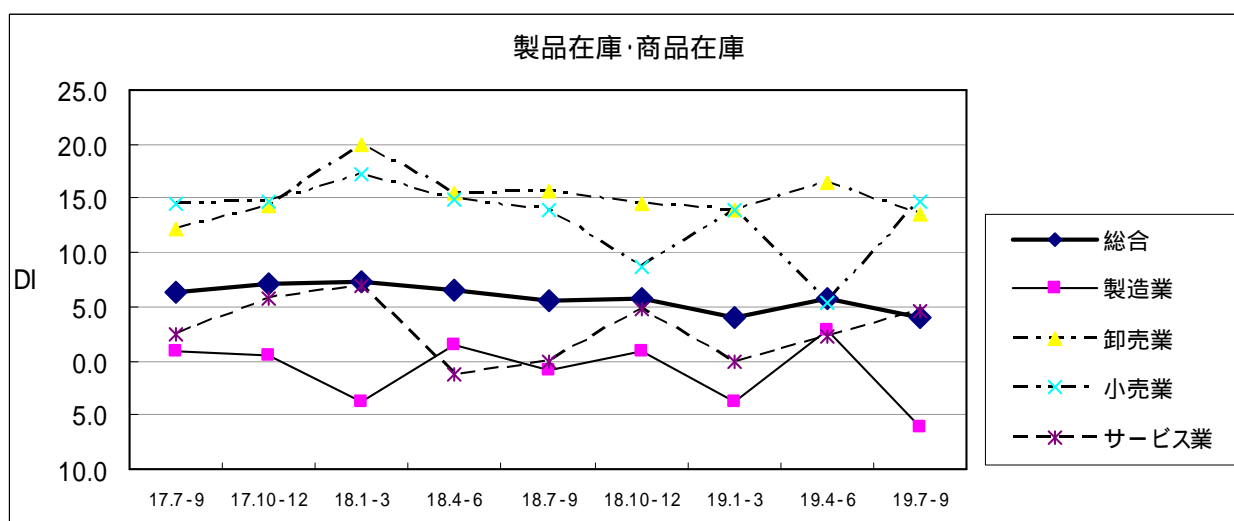
## 6. 製品在庫・商品在庫

### (1) 全体

総合DI（減少 - 増加）は4.0と4～6月期に比べ1.8ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、小売業、サービス業がプラス幅を拡大したが、卸売業がプラス幅を縮小し、製造業がプラスからマイナスに転じた。

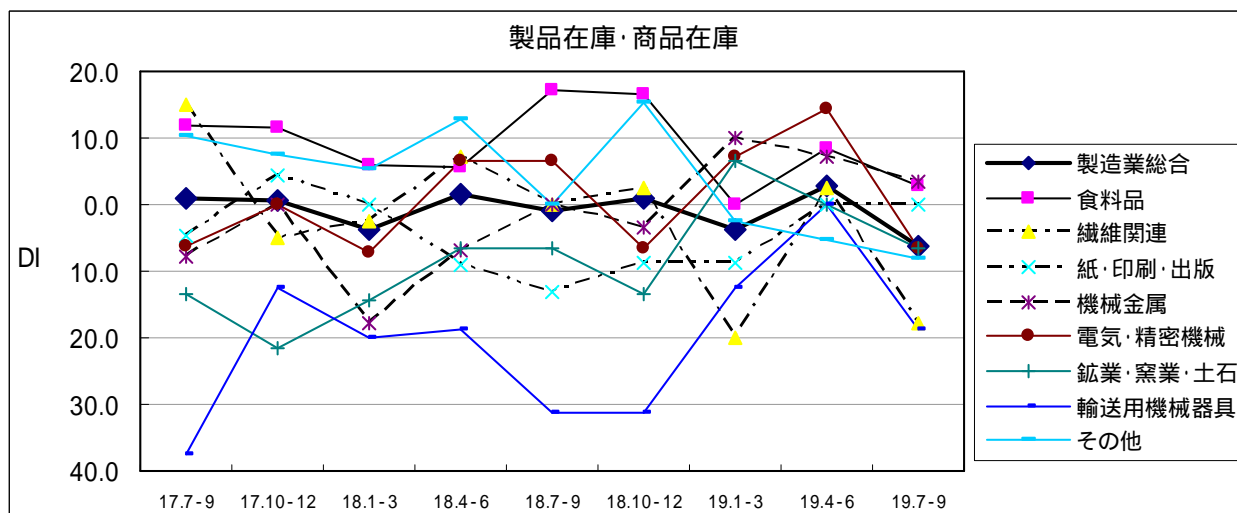
平成19年10～12月期の先行き見通し総合DIは4.2（前回5.4）となり、プラス幅を縮小する見通し。



製品在庫・商品在庫	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	6.4	7.1	7.2	6.6	5.6	5.7	4.0	5.8	4.0
製造業	1.0	0.5	3.9	1.4	0.9	0.9	3.8	2.9	6.2
卸売業	12.1	14.3	20.0	15.4	15.7	14.4	14.0	16.5	13.5
小売業	14.4	14.8	17.2	14.9	13.9	8.6	13.9	5.3	14.7
サービス業	2.4	5.7	7.0	1.2	0.0	4.7	0.0	2.3	4.5

## (2) 製造業の内訳

紙・印刷・出版はプラスマイナスゼロで横ばい。食料品、機械金属はプラス幅を縮小し、繊維関連、電気・精密機械はプラスからマイナスに転じた。鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具はプラスマイナスゼロからマイナスとなり、その他はマイナス幅を拡大した。



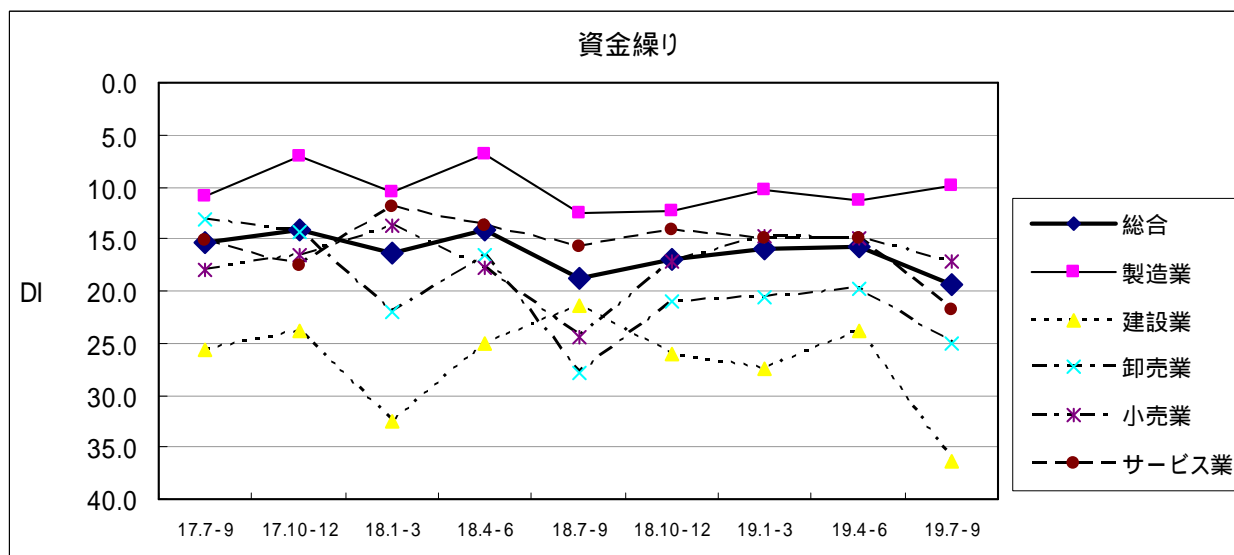
製品在庫・商品在庫	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
<b>製造業総合</b>	1.0	0.5	3.9	1.4	0.9	0.9	3.8	2.9	6.2
食料品	11.8	11.4	5.9	5.6	17.1	16.7	0.0	8.6	2.9
繊維関連	15.0	4.9	2.4	7.3	0.0	2.4	20.0	2.4	17.9
紙・印刷・出版	4.5	4.3	0.0	9.1	13.0	8.7	8.7	0.0	0.0
機械金属	7.7	0.0	17.9	6.9	0.0	3.3	10.0	7.1	3.3
電気・精密機械	6.3	0.0	7.1	6.7	6.7	6.7	7.1	14.3	6.7
鉱業・窯業・土石	13.3	21.4	14.3	6.7	6.7	13.3	6.7	0.0	6.7
輸送用機械器具	37.5	12.5	20.0	18.8	31.3	31.3	12.5	0.0	18.8
その他	10.3	7.5	5.3	12.8	0.0	15.4	2.6	5.4	8.1

## 7. 資金繰り

### (1) 全体

総合DI（好転 - 悪化）は 19.3と4～6月期に比べ3.6ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業がマイナス幅を縮小。それ以外の業種ではマイナス幅を拡大させた。

平成19年10～12月期の先行き見通し総合DIは 17.2（前回 14.1）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

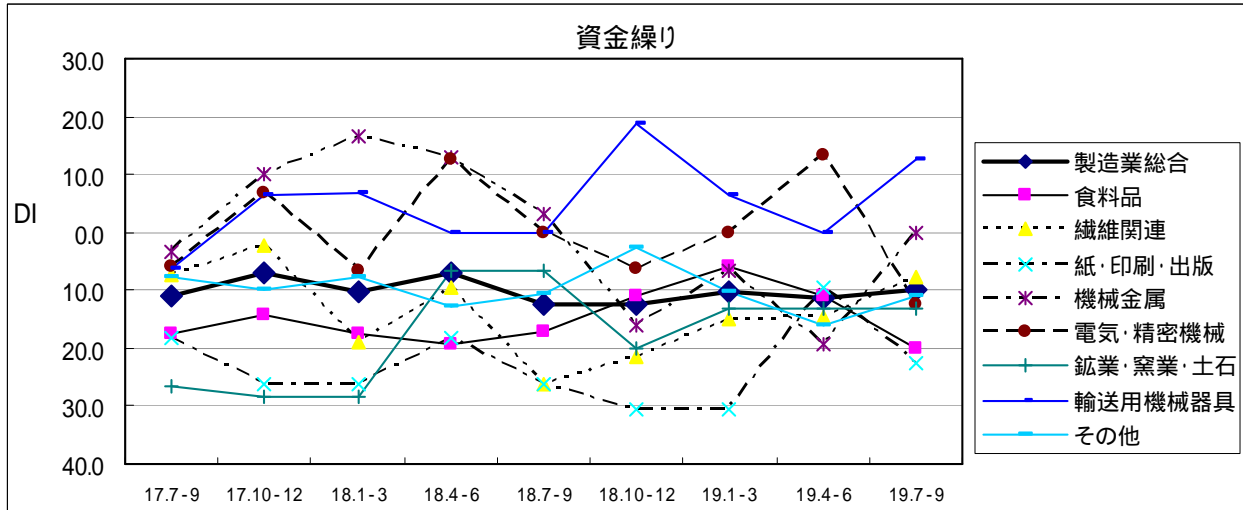


資金繰り	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	15.4	14.2	16.4	14.1	18.9	16.9	16.0	15.7	19.3
製造業	10.8	7.0	10.4	6.9	12.5	12.4	10.3	11.3	9.9
建設業	25.6	23.9	32.6	25.0	21.5	26.1	27.5	23.9	36.4
卸売業	13.2	14.3	22.0	16.5	27.8	21.1	20.7	19.8	25.0
小売業	17.9	16.5	13.8	17.7	24.3	17.2	14.8	15.0	17.2
サービス業	15.2	17.6	11.9	13.7	15.8	14.1	14.9	15.0	21.8



## (2) 製造業の内訳

輸送用機械器具がプラスマイナスゼロからプラスとなり、機械金属はマイナスからプラスマイナスゼロとなる。繊維関連、その他はマイナス幅を縮小、鉱業・窯業・土石はマイナスで横ばいであった。しかし、電気・精密機械はプラスからマイナスに転じ、食料品、紙・印刷・出版はマイナス幅を拡大させた。



資金繰り	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
製造業総合	10.8	7.0	10.4	6.9	12.5	12.4	10.3	11.3	9.9
食料品	17.6	14.3	17.6	19.4	17.1	11.1	5.9	11.1	20.0
繊維関連	7.5	2.4	19.0	9.5	26.2	21.4	15.0	14.6	7.7
紙・印刷・出版	18.2	26.1	26.1	18.2	26.1	30.4	30.4	9.5	22.7
機械金属	3.4	10.0	16.7	12.9	3.2	16.1	6.5	19.4	0.0
電気・精密機械	5.9	6.7	6.7	12.5	0.0	6.3	0.0	13.3	12.5
鉱業・窯業・土石	26.7	28.6	28.6	6.7	6.7	20.0	13.3	13.3	13.3
輸送用機械器具	6.3	6.3	6.7	0.0	0.0	18.8	6.3	0.0	12.5
その他	7.7	10.0	7.9	12.8	10.5	2.6	10.3	16.2	10.8

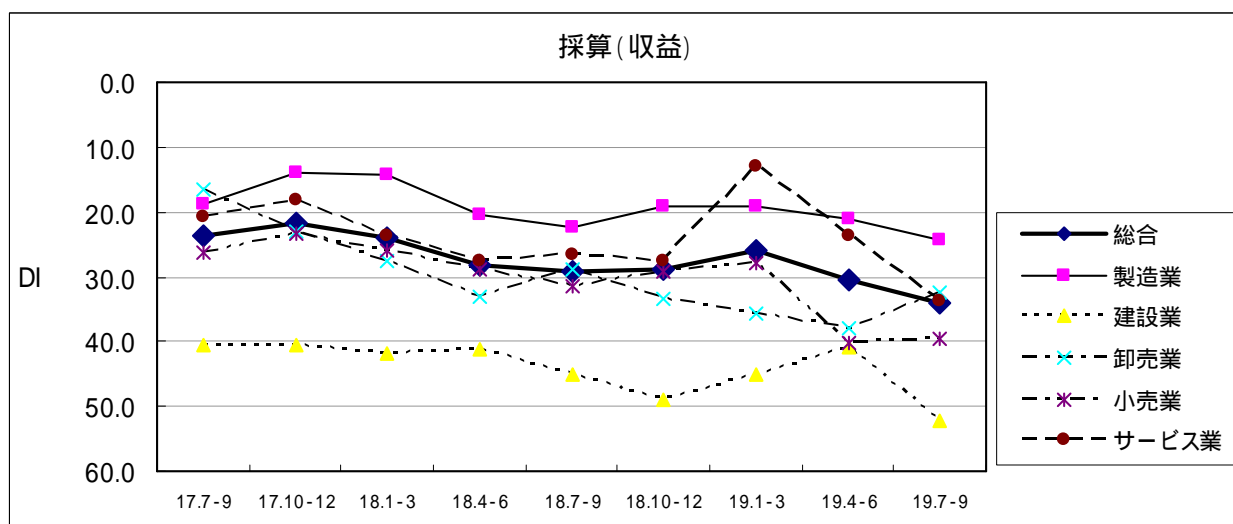
## 8. 採算(収益)

### (1) 全体

総合DI(好転-悪化)は 34.1と4~6月期に比べ3.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、卸売業、小売業がマイナス幅を縮小したが、製造業、建設業、サービス業ではマイナス幅を拡大した。

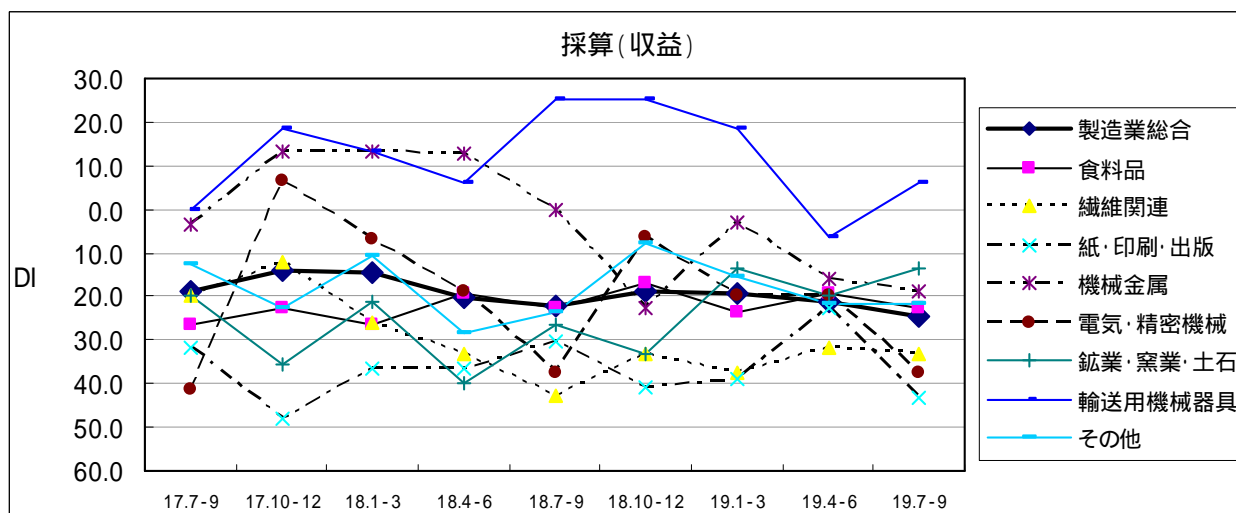
平成19年10~12月期の先行き見通し総合DIは 23.2(前回 23.5)となり、マイナス幅を若干縮小する見通し。



採算(収益)	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	23.5	21.8	24.1	28.1	29.1	28.9	26.0	30.6	34.1
製造業	18.9	14.0	14.3	20.3	22.2	19.0	19.2	21.1	24.4
建設業	40.7	40.7	41.8	41.3	45.2	48.9	45.1	40.9	52.3
卸売業	16.7	23.1	27.5	33.0	28.9	33.3	35.6	38.0	32.6
小売業	26.3	23.5	25.9	28.9	31.3	29.3	27.8	40.4	39.7
サービス業	20.8	18.3	23.8	27.5	26.5	27.7	12.9	23.8	33.7

## (2) 製造業の内訳

輸送用機械器具がマイナスからプラスへ転じた。鉱業・窯業・土石がマイナス幅を縮小し、その他はマイナスで横ばいであったが、食料品、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械においてマイナス幅が拡大した。



採算(収益)	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
<b>製造業総合</b>	<b>18.9</b>	<b>14.0</b>	<b>14.3</b>	<b>20.3</b>	<b>22.2</b>	<b>19.0</b>	<b>19.2</b>	<b>21.1</b>	<b>24.4</b>
食料品	26.5	22.9	26.5	19.4	22.9	17.1	23.5	19.4	22.9
繊維関連	20.0	12.2	26.2	33.3	42.9	33.3	37.5	31.7	33.3
紙・印刷・出版	31.8	47.8	36.4	36.4	30.4	40.9	39.1	22.7	43.5
機械金属	3.4	13.3	13.3	12.9	0.0	22.6	3.2	16.1	18.8
電気・精密機械	41.2	6.7	6.7	18.8	37.5	6.3	20.0	20.0	37.5
鉱業・窯業・土石	20.0	35.7	21.4	40.0	26.7	33.3	13.3	20.0	13.3
輸送用機械器具	0.0	18.8	13.3	6.3	25.0	25.0	18.8	6.3	6.3
その他	12.8	22.5	10.5	28.2	23.7	7.7	15.4	21.6	21.6

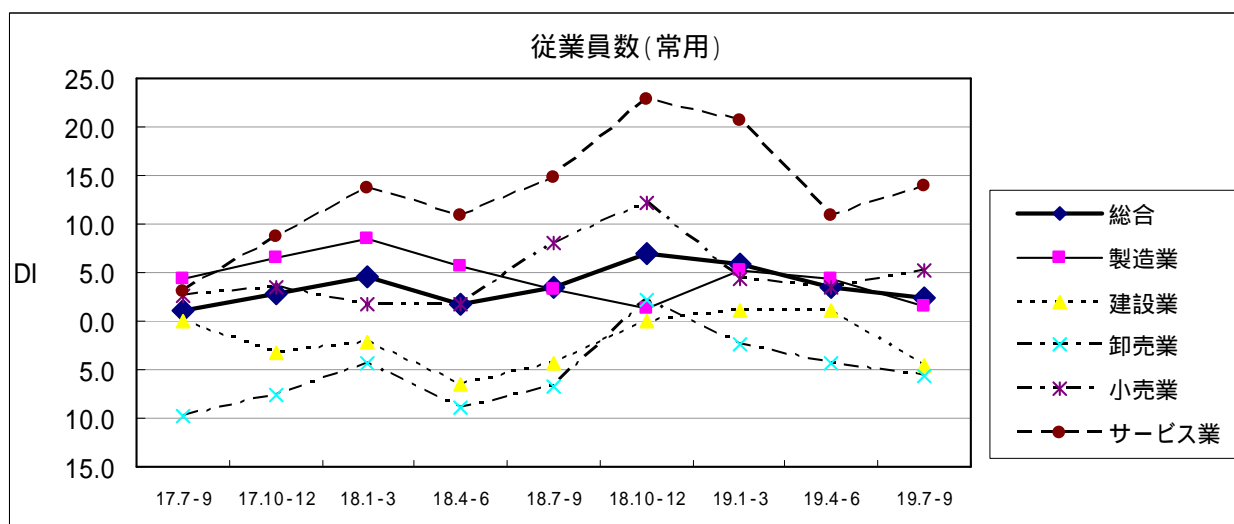
## 9. 従業員数（常用）

### (1) 全体

総合DI（不足 - 過剰）は2.3と4～6月期に比べ1.2ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、小売業、サービス業がプラス幅を拡大。製造業はプラス幅を縮小し、建設業がプラスからマイナスに転じた。卸売業はマイナス幅を拡大した。

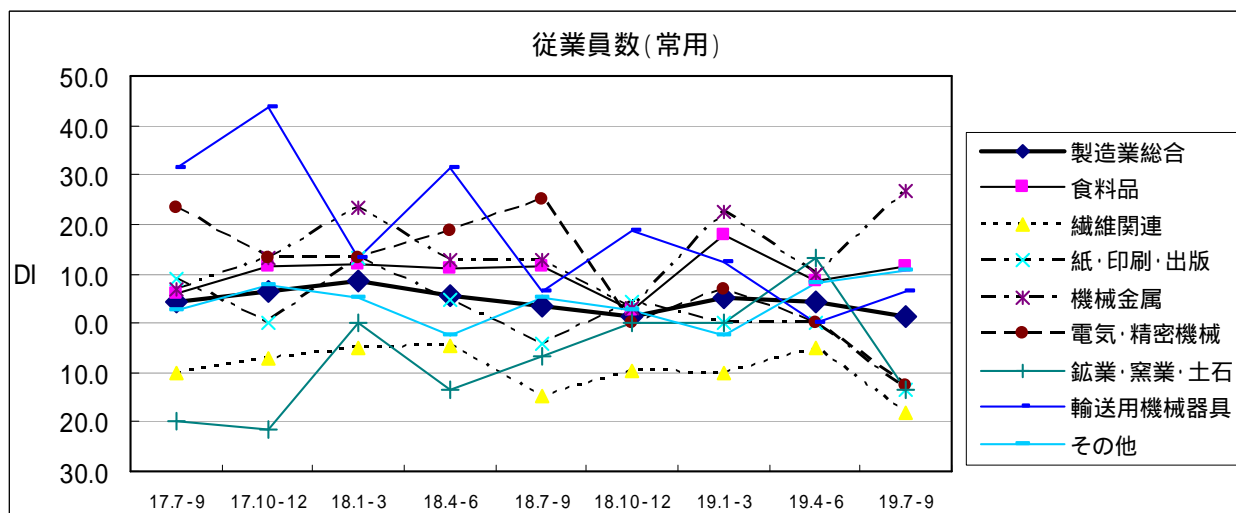
平成19年10～12月期の先行き見通し総合DIは4.5（前回2.9）となり、プラス幅が拡大する見通し。



従業員数(常用)	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	1.0	2.8	4.6	1.8	3.4	6.9	6.0	3.5	2.3
製造業	4.2	6.5	8.6	5.6	3.3	1.4	5.2	4.2	1.4
建設業	0.0	3.3	2.2	6.6	4.3	0.0	1.1	1.1	4.5
卸売業	9.9	7.7	4.4	8.9	6.7	2.3	2.4	4.4	5.7
小売業	2.6	3.5	1.7	1.8	8.0	12.3	4.4	3.5	5.3
サービス業	3.0	8.7	13.7	10.9	14.7	22.8	20.6	10.9	13.9

## (2) 製造業の内訳

食料品、機械金属、その他でプラス幅が拡大し、輸送用機械器具はプラスマイナスゼロからプラスとなった。しかし、紙・印刷・出版、電気・精密機械はプラスマイナスゼロからマイナスとなり、鉱業・窯業・土石はプラスからマイナスに転じた。繊維関連はマイナス幅を拡大させた。



従業員数(常用)	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
製造業総合	4.2	6.5	8.6	5.6	3.3	1.4	5.2	4.2	1.4
食料品	5.9	11.4	11.8	11.1	11.4	2.8	17.6	8.3	11.4
繊維関連	10.0	7.3	4.9	4.8	14.6	9.5	10.0	4.9	17.9
紙・印刷・出版	9.1	0.0	13.0	4.8	4.3	4.3	0.0	0.0	13.6
機械金属	6.9	13.3	23.3	12.9	12.9	3.2	22.6	10.0	26.7
電気・精密機械	23.5	13.3	13.3	18.8	25.0	0.0	6.7	0.0	12.5
鉱業・窯業・土石	20.0	21.4	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	13.3	13.3
輸送用機械器具	31.3	43.8	13.3	31.3	6.3	18.8	12.5	0.0	6.3
その他	2.6	7.5	5.3	2.6	5.3	2.6	2.6	8.1	10.8

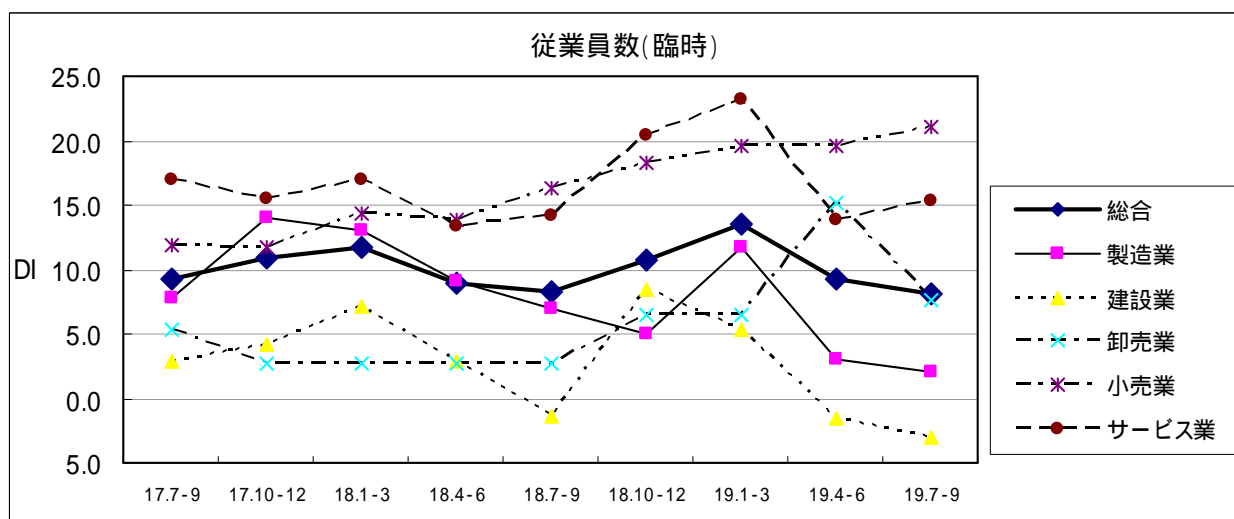
## 10. 従業員数（臨時）

### (1) 全体

総合DI（不足 - 過剰）は8.1と4～6月期に比べ1.1ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、小売業とサービス業がプラス幅を拡大したが、製造業、卸売業でプラス幅を縮小。建設業はマイナス幅を拡大させた。

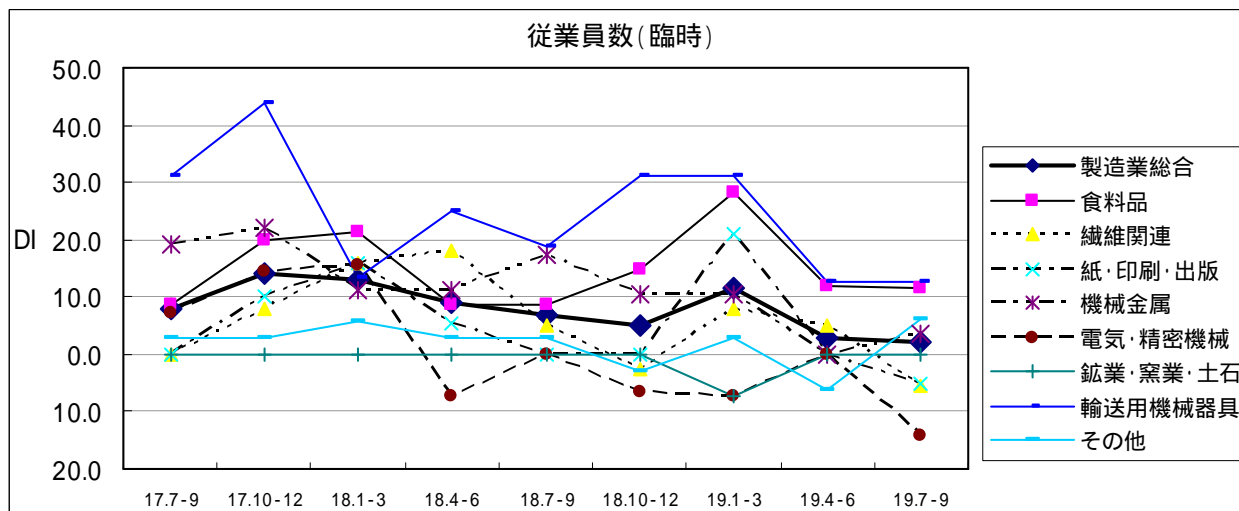
平成19年10～12月期の先行き見通し総合DIは7.9（前回8.3）となり、プラス幅を縮小する見通し。



従業員数(臨時)	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
総合	9.2	10.9	11.7	9.0	8.2	10.8	13.6	9.2	8.1
製造業	7.8	14.0	13.0	9.0	7.0	4.9	11.7	3.0	2.0
建設業	2.8	4.1	7.1	2.8	1.4	8.5	5.4	1.6	3.0
卸売業	5.3	2.6	2.7	2.7	2.7	6.5	6.4	15.2	7.7
小売業	11.9	11.7	14.3	13.9	16.3	18.3	19.6	19.6	21.0
サービス業	17.0	15.5	17.0	13.3	14.1	20.4	23.2	13.8	15.4

## (2) 製造業の内訳

機械金属がプラスマイナスゼロからプラスとなり、その他がマイナスからプラスへと転じた。鉱業・窯業・土石がプラスマイナスゼロで、輸送用機械器具はプラスで横ばい。食料品は若干プラス幅を縮小させ、繊維関連はプラスからマイナスに転じ、紙・印刷・出版、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからマイナスとなった。



従業員数(臨時)	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9
製造業総合	7.8	14.0	13.0	9.0	7.0	4.9	11.7	3.0	2.0
食料品	8.8	20.0	21.2	8.8	8.8	14.7	28.1	11.8	11.4
繊維関連	0.0	7.9	15.8	17.9	5.1	2.5	7.9	5.1	5.4
紙・印刷・出版	0.0	10.0	15.8	5.3	0.0	0.0	21.1	0.0	5.0
機械金属	19.2	22.2	11.1	11.1	17.2	10.3	10.3	0.0	3.7
電気・精密機械	7.1	14.3	15.4	7.1	0.0	6.7	7.1	0.0	14.3
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
輸送用機械器具	31.3	43.8	13.3	25.0	18.8	31.3	31.3	12.5	12.5
その他	2.9	2.8	5.7	2.8	3.0	2.8	2.9	6.1	6.1